

平成 19 年度地域いきいき読書活動推進事業

「手作り絵本を楽しむ」講座

川 野 洋 子

主催 宮崎県教育委員会（宮崎教育事務所）
日時 平成 19 年 12 月 16 日（日） 13:30～16:00
会場 宮崎県立図書館 研修ホール
講師 川野 洋子

講座目的

地域住民を対象に、読書活動推進のための学習機会を提供することにより、読者の重要性の啓発や読書活動の充実を図り、本県の読書活動の普及に資する。

対象者：親子（小学生以上の児童生徒と保護者）、手作り絵本に興味のあるグループ

講座報告

大学で学生達と一緒に絵本作りをしているのだが、ハード作り絵本とはちがい半日で仕上げながら「楽しい絵本作り」の講座をとということで宮崎県教育事務所より依頼がありました。半日で仕上げることは難しく頭を抱えているときに「簡単手作り絵本」があることを知り、これなら半日で絵本が製作され、親子で一緒に楽しみながら絵本作りが出来そうなので講座を受けることにしました。

しかし、実際に絵本を作るのには紙等材料・道具等の準備を揃えていくことが難しく何度もメールや電話のやりとりをしながら当日を迎えることにしました。その中で一番困難だったのが本作りに大切な紙の種類です。紙の目の方向は、本作りをしていく中で最初に重要なことで綺麗に製本できる条件のひとつになります。

紙は、大量の水にまぜられた原料をすきあみに流し、水を落とした後に乾燥して作ります。そのすきあみの上を流れて行くときに紙の繊維が流れの方向に沿って並びます。

その方向がどうとおっているかをいうのに「紙の目」ということばをつかいます。

本を作るときには、開きが悪くなったり、ノドにしわがよったりしないためにも「紙の目」は必ず「とじ」の方向と平行にとおっていなければなりません。

簡単な見分け方としては

- ・紙をさいてみる。目の方向はきれいにさけやすく、逆はさけにくい。
- ・同じ大きさの紙を 2 枚重ねて端を持ち下に垂れ下がる曲線が大きい方が辺の方向に目がおっているかさいてみる

そして、実際に見本を作り絵本の大きさや紙の質などを前もって宮崎教育事務所に送付しながら準備しました。八つ切りの紙 5～6 枚に絵を描き絵を内側にして半分に折る。半分に折った紙を天地、順序を間違えないように重ねて貼り合わせ中身完成。最後は、中身を表紙の紙でくるみ形を整え化粧断ちする方法です。

《 簡単絵本作り方 》

1 用意するもの

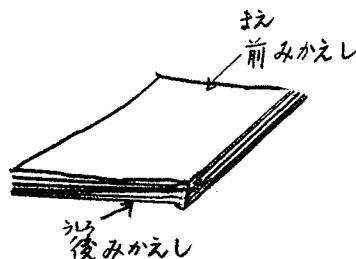
- ★ 画用紙・・・八つ切り5枚
 - ★ 表紙用の紙・・・1枚
 - ★ 見返しの紙・・・2枚
 - ★ スティック糊・・・1本
 - ★ ビニール糊・・・中身と表紙を合体させる時に使う
- 画材・・・色紙・マジック・色鉛筆・クレヨン・等
(クレヨンは色移りするので止め液をかける)

2 絵や文を描く

- ・本文は主に子ども
- ・表紙は親 (縦書きの本・横書きの本ではページの開きが違ってくるので注意!!)
背文字・・・書名・作者名もかきましょう!

3 中身 本文をつくる

- ・本文になる絵を内側にして
角をそろえて丁寧に折る
折り目はしっかりおさえる

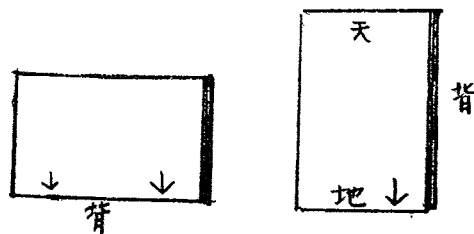


4 帖合いする (ページ順にそろえる)

- ・折ったものを前見返し・本文・後見返し
となるように順序、天、地をまちがえない
ように必ず確認する。

5 つきそろえる

- ・1冊分を両手で持ち、天、地をそろえ
本の背となる方をつきそろえる。
(天・地・前小口は化粧断ちをする)

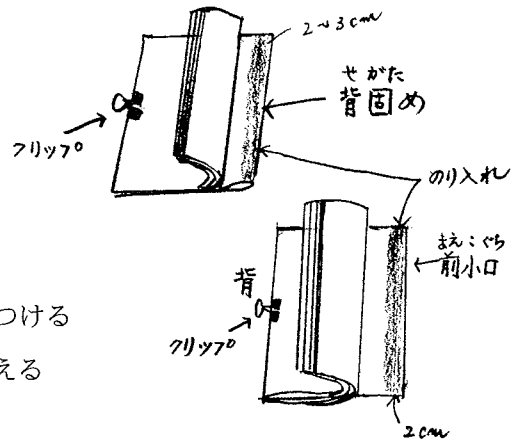


6 背固め

- ・前小口にクリップをとめる
本文を片手で全部持ち紙を順番に
おとして2cm～3cm 巾に糊をつけおさえる。

7 本文糊入れ

- ・クリップを背の方にとめなおす。
- ・背固めの要領で紙を落とし絵の裏側（平）に前小口から2cm^{のり}巾に糊をつけおさえる



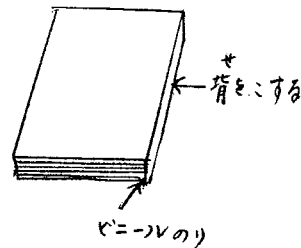
8 表紙くるみ

- ・一番上になっている部分前見返しの裏に前面に糊をつける
表紙の前小口と本文の前小口を丁寧にはりつけおさえる

9 背つけ

- ・背の部分を製本たわしでこする
表紙が背にしっかりとつき本らしい角
ばった背になる。

書名、作者名（背文字）の部分そのままこすると色が散ることがある。紙を当てた上からこするとよい。

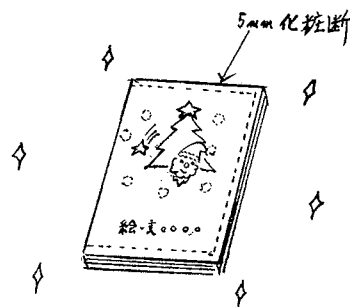


10 押し（プレス）

- ・本の形になりました。
早く開いてみたくなりますがここで開くと背がくずれます。しばらくプレスします。
このプレスがしわや反りを防ぎすっきり仕上げのコツです。

11 断裁（化粧断）

- ・糊がかわいたなら天・地・小口を裁つ。
断裁のコツは切るといよりも定規にカッターを当てて線を引く感じで力を入れずに何回もカッターを引くことです。
定規を押さえている手は最後まで断ち終わるまでしっかり押さえて動かさないことです。

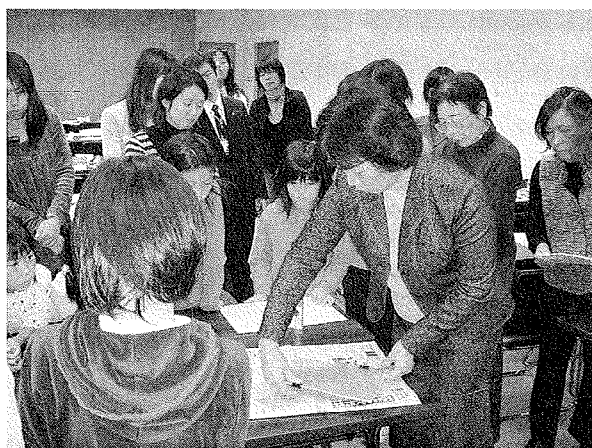


完成！！

1 親子

- ・とても楽しかったです。又、参加してみたいです。
- ・子ども達も少ない時間の中で、絵・文を完成でき、満足だったようです。ありがとうございました。
- ・前置きやはじめの説明が長すぎると思いました。やり始めてから、教えてもらうことが多く、ポイント（必ず守る）は、はじめに教えてもらえると書き直す必要がなかったなあと思います。時間配分がうまくいかず、できあがらなかったのが、残念でした。でも、娘と楽しい時間が過ごせ、来年の夏休みは絵本づくりに挑戦したいです。
- ・子どもが家で絵本をつくって遊ぶことが多く、はりきって参加させていただきました。自由に子どもに描かせようと思ったのですが、ついつい口を出してしまいました。とても、勉強になりました。ありがとうございました。
- ・本作りなどなかなか出来ない体験ができ、よかったです。子どもも思った以上に楽しそうに作っていました。ありがとうございました。

※（子ども）おもしろかった。自分でアイデアを出し、ママといっしょに作れた。またいきたい。



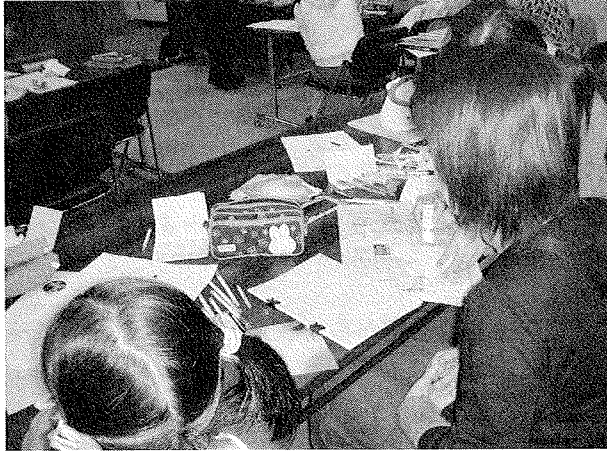
・今日は楽しく絵本づくりが出来ました。ありがとうございました。娘と参加しました。

「世界に1つだけの絵本」が出来ました。お兄ちゃんへクリスマスプレゼントするといって、数日前から楽しく準備しました。その数日は、とてもわくわくする時間でした。こんな楽しい講座に参加させていただき、ありがとうございました。クリスマスまでに二人で仕上げたいと思います。

- ・絵本を自分たちでつくるという発想は思っても見なかったので、たいへん興味深かったです。子どもたちと作っていると、子どもたちが「こうしたら、ああしたら」と、どんどんイメージがわいてくるようで、すごいなあと感心させられました。子どもたちの思いを表現できるお話が出来て、形に残り、後からも、振り返られる最高の絵本が出来ました。「送る相手を考える」というヒントがたいへんよかったです。ずーっと子どもの気持ちを考えて作成しました。毎日忙しくかまってあげられないのですが、今日はたいへんよい機会を与えてもらいありがとうございました。川野先生が絵本を紹介された時、たいへんお話が上手で、つい聞き惚れてしまいました。

2 学校関係者

- ・絵本の内容について、どういうテーマにしようかと悩んでのぞんだ講座でしたが、先生が「誰に、



何を伝えたいか」ということを大切に、とおっしゃったその一言で、バツとひらめきました。目的をもってつくるということは、楽しいと思います。今回、絵本づくりに挑戦したことで、絵本作家さんが、どんな気持ちを含めてつくっていらっしゃるのか、考えてみようと思いました。(今までは絵本の話のみにひかれがちだったので)とても楽しく、あっという間に時間が過ぎた。

- ・時間をもっとあればいいなあと思うくらい楽しく活動させていただきました。学校の子どもたちにも広めていきたいと思います。ありがとうございます。
- ・様々な本の紹介から、本の部分の名称まで、とてもためになりました。いつも何気なく読んでいる本がこんなに簡単に作れるなんて、とてもびっくりしました。これからは機会があれば、作ってみようと思います。本当にありがとうございました。

3 児童館・児童クラブ等関係者

- ・楽しい講座でとてもよかったです。何十年前に私も短大で図書司書資格をもったものですが、眠たかった思いがありました。今回の講座をいかして、児童と絵本づくりを遊びの中でやってみたいと思いました。ありがとうございました。
- ・はじめての絵本づくりの講座を聴かせていただきました。絵本を読むのは楽しいけれど、やっぱり自分でつくるとなると、いろいろなヒントを教えていただかないと難しいなと思いました。よい機会でした。
- ・楽しい絵本づくりとなりました。冬休みがくるので、子どもたちといっしょに作りたいと思います。子どもたちの方がもっとうまいストーリーを考えるのではないかと。思います。手作りのぬくもりを知ることにも出来ました。ありがとうございました。



4 行政関係者

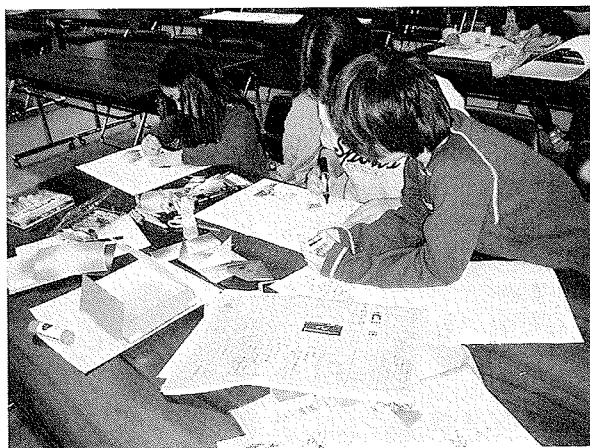
- ・昨年より、町内の親子を対象に絵本づくり教室を行っています。昨年は「手作り絵本キット」を使って、作成し、今年はすべてを手作りでガードカバーの絵本を仕上げました。本するのが難しく、「親子で」というより、ほとんど図書館職員で製本している状態でした。今回、表紙を

くるんでつくる作り方があるのを知り、今後ぜひ、活かしていきたいと思います。ありがとうございました。

5 個人・無記名

- ・とても楽しかったです。細かく分かりやすい説明と実習で、すてきな絵本が出来ました。
- ・たのしかったです。うちで、もっとゆっくり時間をかけて作ってみたいです。講話が長くて、子どもにはかわいそうだったかな・・・。

講座を終えて



絵本作りの楽しさは、自分の描いた絵や文が1冊の本に仕上がっていく喜びでもありますが、作るまでの構想や配置・色塗りを考えていく楽しさもあります。今回は親子で絵本作りということで親子で会話しながらの絵本作りとなりました。

参加した親子の中では、4月から家を離れて大学生活を送るお兄ちゃんに絵本を作るのだと言っていました。お兄ちゃんの顔や思い出グッズ、お兄ちゃんの大好きな物やメッセージを折り紙や布で表し、マジックで絵を描いています。おしゃべりしながら時には黙々と色を塗ったりしています。その場には、お兄ちゃんがないのですが、温かい家族構成が伺える雰囲気伝わってきました。

絵本作りは優れた絵の才能と素晴らしい文才があれば絵本は作れると思っていましたが、心を込めて読んでもらいたい、見てもらいたい相手のことを思って作っていく過程が素敵な絵本に仕上がっていくのだと痛切に感じました。

また、母と子の参加の多い中父親参加もあり中身の絵と文のページが仕上がると、張り合わせや化粧裁ちに積極的に動き1冊の絵本を協力して仕上げていました。

現在、親子の会話が希薄になってきていますが1冊の手作り絵本がよい機会となり読書活動の推進となったのではと思います。

絵本の種類は、日常生活から素材を得た生活絵本。現実にはない動物や植物が人と話したり、怪獣が出てきたりする世界をつくりあげたファンタジー絵本。人々が長く語り継いできた民話や物語絵本。物語の展開の意外さや奇抜さ、驚きや笑い「なんだかわからないへんてこりんのおもしろい」というユーモアのあるナンセンス絵本。地球環境や自然（昆虫、生き物、季節）体のしくみ、宇宙などのテーマに科学的知識観察力、



思考力を育てる科学絵本。他にも乗り物、文字絵本（あいうえお絵本）数字絵本、写真絵本、言葉あそびなどありますが今回の参加者の中では生活絵本やファンタジー絵本のストーリーが多く見られました。

「“手作り絵本を楽しむ” 講座に参加しようと決めた時から、親子で本の話が良く出ました。今日までとても楽しく良い思い出ができました。」との感想を聞き今回の講座を無事に終えました。

参考文献

全国学校図書館協議会 岩田 斉 「手作り絵本の作り方」

(かわの ひろこ 別府大学附属図書館)